

目次

- | | |
|-------------------------|-------------|
| 1. 前回のまとめ、委員からの意見への対応 | P 3 |
| 2. 地域住民との意見交換会の結果と対応 | P 16 |
| <u>3. ルートの2次選定（A区間）</u> | <u>P 29</u> |
| 4. ルート全体のとりまとめ | P 48 |
| 5. 今後の手続き | P 50 |

3. ルートの2次選定 (A区間)

●A区間 (前回の振り返り)

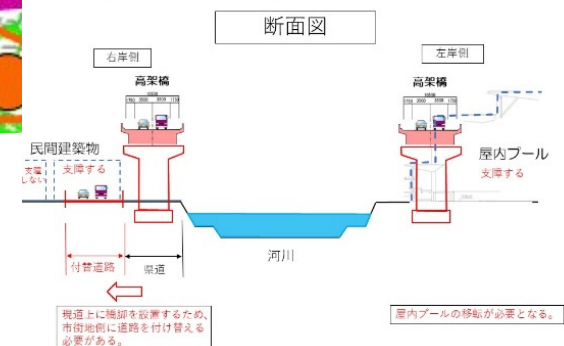


【第2回委員会の経緯】

浦上川の右岸または左岸を通過するルート

既成市街地への影響 (補償件数など) では「**第2案 (左岸ルート)**」が優位。

一方、経済性では「**第1案 (右岸ルート)**」が優位。



→資料やデータが十分でなく、他ルートの検討も必要であるため、継続検討とされた。

3. ルートの2次選定（A区間）

●A区間（委員の意見と県の対応）

<ルート案について>

【意見1】

高架橋を、浦上川の上空を通せないのか。

【意見2】

右岸側ルートは補償件数が多く、事業期間がかかりすぎる。

【意見3】

右岸側ルートは、住民への影響が大きい面が危惧される。

【県の対応】

- 様々な構造やルートを検討しました。

3. ルートの2次選定（A区間）

- 様々な構造やルートを検討
 - 第1案（右岸側）：市街地側のルート案

特長	イメージ図	概要	評価
<p>現道内に橋脚を設置する (前回提案)</p>		<p>補償件数が多くなる。 ライフラインの大規模移設が必要。 沿道の土地利用への制約は生じない。</p>	○
<p>現道の横に橋脚を設置する</p>		<p>補償件数が多くなる。 民地と道路の間に橋脚が設置されるため、沿道へのアクセス性や土地利用が制約され、地権者や地域への影響が大きい。</p>	△ (上記より劣る)

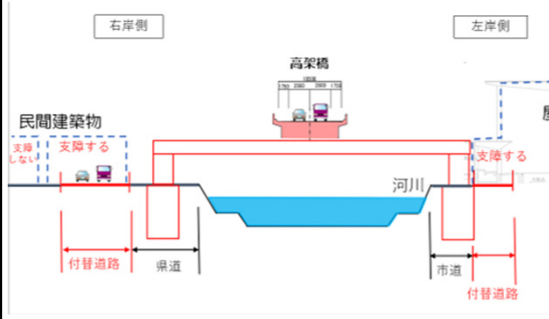
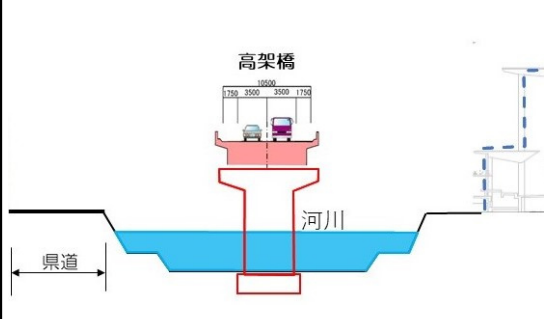
3. ルートの2次選定（A区間）

- 様々な構造やルートを検討
第2案（左岸側）：プール側のルート案

特長	イメージ図	概要	評価
<p>プールを 移転する (前回提案)</p>		<p>補償件数を減らすことができる。 プールの補償費が高額となる。</p>	○
<p>プールの上空 を通過する</p>		<p>市景観計画(H23.4施行)の 高さ規制 (H=21m) を 超過する。 (屋内プールはH8竣工)</p>	×
<p>プールの真横 を通過する</p>		<p>上部工が両岸の建物に支 障しない構造で、プールへ の影響が最小となる。 詳細な技術的検討が必要。</p>	△ 技術的な 課題あり

3. ルートの2次選定（A区間）

- 様々な構造やルートを検討
河川空間を通過するルート案、その他のルート案

特長	イメージ図	概要	評価
河川を <u>門型橋脚</u> で またぐ		河川の兩岸（市街地側、プール側）に、橋脚を設置する必要があり、多くの建物移転が生じる。	×
<u>河川内</u> に 橋脚を 設置する		河川内に橋脚を設置する場合、必要な河川流下断面が不足する可能性が高い。	×
全区間を <u>トンネル</u> と する		<p>河川の下を通る際、トンネルと河床の離隔が基準を満足できない箇所がある。</p> <p>渡河部がサグとなり、ポンプ排水など維持費が嵩む。</p> <p>降雨時、雨水の流入により安全が確保できない。</p> <p>水底トンネルのため危険物積載車両の通行が規制される。</p>	×

3. ルートの2次選定（A区間）

- 様々な構造やルートへの検討

以上の結果、今後検討対象として考えられる構造等は

（第1案・右岸側）

- 現道内に橋脚を設置（前回提案）

（第2案・左岸側）

- プールを移転する（前回提案）
- プールの真横を通過する（ただし、詳細な技術的検討が必要）

今回の選定委員会では、第1案（右岸）又は第2案（左岸）
どちらかのルート帯を選定していただきます。

（構造の詳細については、ルート帯選定後、検討する。）

3. ルートの2次選定（A区間）

●A区間（委員の意見と県の対応）

<茂里町IC周辺について>

【意見4】

- ・茂里町での乗り入れ（IC）はどのようなになるのか。

【意見5】

- ・整備後の竹岩橋周辺での道路形態はどうなっているか。

【県の対応】

- ・現在検討を進めています。

3. ルートの2次選定（A区間）

●意見交換会における参加者の意見（再掲）

A区間に関する意見

参加者の意見	回答（対応方針）	備考
地域生活に必要な施設が移転すると、地域としては困る。 近隣に代替地がないと、移転をお願いしても移転しない者もいるのではないかと。	地域コミュニティの維持を基本方針としており、地域の意見も配慮してルートを選定する。 代替地については、事業実施時に個別調整し、その確保には地元市町の協力を得ながら進める。	城山
プール側のルートが、地元の反対がなく、いいのではないかと。	地元の意向を十分把握して、ルートを選定する。	城山
A区間はプール側を通るルートが、用地買収が少なく、地域への影響が小さく、計画が早く進むので一番いいルート帯ではないかと。	経済性をはじめとして、様々な観点から総合的に評価する。	市民会館